

スマホアプリを用いた消防団活動の効率化(神奈川県横浜市)

取組概要

消防団員8,305人の限られた時間を有効活用するため、民間事業者と協力し、災害現場における活動の効率化と、事務処理業務を支援する**スマホ用アプリを開発し運用を開始した。**

取組の効果

- ・災害情報の伝達に係る時間 約**3,500時間**/年を削減
- ・約**41,000件**/年の活動に係る報告書を**0枚**まで完全に削減
- ・活動実績把握に要していた時間の約**54%**を削減

創意・工夫した点

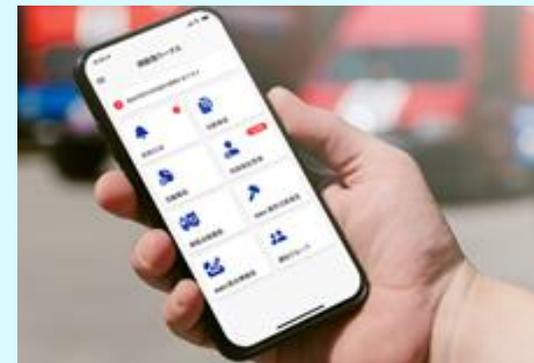
- ・災害対応と事務に対応するアプリ
- ・他市町村でも利用できるアプリ
- ・従来の業務フローの見直し
- ・機能改善を前提とした設計

他団体へのアドバイス

- ・専門部署を巻き込んだ、全庁的な実施体制構築が重要
- ・デジタル化には、現状の業務フロー見直しが必須
- ・実現までには地道で継続的な努力が必要だが、デジタル化がもたらすメリットは大きい

人口 3,769,220人(R6.1.1現在)

担当 消防局総務部消防団課



スマホ用アプリ「消防団ワークス」



団員が毎月作成していた活動実績報告書